

日作協発第 229 号  
令和 3 年 3 月 3 日

厚生労働省 医政局 医事課  
試験免許室 御中

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会 長 中 村 春 基

### 第56回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月21日に実施されました第56回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、211校(223課程)中88校(89課程)42(40)%から「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい二つの問題（午前1問題、午後1問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

### 記

- I 複数の解が選択できると思われる1問題（午前70）について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる1問題（午後59）について、採点から除外することが望ましいと考える（別添資料 1-1～1-2 参照）。

### II その他の意見

用語や設問の表現が不適切であり選択肢の理解に戸惑う3問題（午前14・24、午後6）、消去法や優先順位等から解は選べるものの他の選択肢も該当する可能性がある3問題（午前46・53、午後26）があると考えます。